



2024.9.20 第142号

年金局・「隠退教師を支える運動」通信

今回は、3月以降、受給者の皆さまからご提出いただきました現況届に添えられた近況などを紹介させていただきます。まず初めに、現況届と一緒に、息子さんがご同封くださった所属教会のウエスレー合同教会のニューズレターに投稿された塚本彰夫先生の麗子夫人の文章を、ご承諾いただき転載させていただきます。

教会と私

塚本 麗子

2023年12月、多分暮近くになってからの事と思います。「来年1月末、山本牧師と長女の董ちゃんが San Jose に来て数日間滞在されます」という思いがけない News に 日語ミニストーリーのメンバー

は小躍りして喜び合いました。

明けて2024年1月28日の山本先生の礼拝当日は会堂一杯の会衆で埋められ、一



塚本 麗子 さん

同声高らかに御名を賛美することが出来ました。ベイエリアの教会からも参加してくださり、共に礼拝できる恵みを感謝致しました。

2022年6月末、ウエスレー教会の副牧師であり、日本語の担当牧師でありました山本牧師ご一家は帰日され、兵庫教区伊丹教会の牧師として、よき働きを続けられる事となりました。50年あまり私は米国に住みながら英語に馴染まず勉強もせずに過ご

してしまい、「日本語で礼拝を守れない」という大きな危機を迎えることとなりました。そんな中で励ましを受けたのが毎週発行されるようになった日語フェローシップのレターでした。週ごとに励まされ主を信ずるものとしての歩みを確かにしたと思うに至りました。

先ずは月4回の礼拝です。

第1と第3日曜はウエスレー教会の合同礼拝をタブレットを通して自室で守ります。日語部から聖書を読んでもくださる方、聖歌隊で歌唱してくださる方にメールを送ります。Go Now In Peace... となると、頬が緩みます。

第2日曜は合同礼拝に参加致します。月定献金を捧げます。礼拝後、お友達との交わりの中で頂くお菓子はとても美味です。

第4日曜はチャペルで日語礼拝を守ります。この為にベイエリア在住の先生方が来て下さったり、只今日本在住の

「隠退教師を支える運動」

「隠退教師を支える運動」今後の歩みに際して

推進委員長 鈴木 秀信

『私たちは、それぞれの教師が長年にわたり伝道と牧会に全生涯を捧げられ隠退してからの生活を少しでもお支えしたいと念願しております。このことは、私たち信徒の祈りであり責任であると自覚しております。』

「私たちのビジョンその二」としてこの運動の想いをこの言葉に託し、今日まで活動を進めてきております。そしてこの運動を支えている基本的な姿勢として次の点が挙げられると思います。



鈴木 秀信 委員長

第一に「祈りによる力」が源流となつていふこと。第二に信徒運動であること。第三にこれらの祈りや信徒運動の底流にあるのが信徒の教師に対する心からの愛と信頼に支えられているということ。そして第四が「教師の老後を支える」という点に留まらず「現職の教師が老後に憂いなく宣教に専念できること」を視野に入れていふこととす。

これら四つの姿勢はこれらも大切にしていかなければなりません。しかし同時に課題も与えられております。端的に言えば献金額の減少傾向、信徒の高齢化による運動継承、協力教会・伝道所数の伸び悩み等々です。この課題の中で、信徒への啓蒙運動と

同時に教師の方々のご理解を賜り、この信徒運動を背後からお育て下さるようお願い申し上げます。そのことにより次に掲げる「私たちのビジョン その五」に向き合う勇気が与えられると思っております。

『私たちは、「隠退教師を支える運動」を展望するとき、時代の流れをみつめ、「教師の生涯設計」という視野の中で信徒運動としてのビジョンに導かれながらそれを共有し、そのために祈りと共に献金活動を継承することを誓うものであります。』

(すぎ ひでのぶ／船橋教会員)

ようこそ！お願いします

2024年4月より、事務局の若島千絵さんの後任で入りました森永美恵子と申します。全国教会婦人会連合の主任の井合さんからお声がけいただき、足りないながら少し

でもお役にたてるならとお引き受けしました。委員長の鈴木さん、事務局長の山田さんと心を合わせ、隠退教師を支える運動のために長年お働きくださった若島さんの想いも引き継ぎつつ、微力ながら励んでまいりたいと存じます。

隠退教師の方々のお働きは、隠退なさってからこそ



森永 美恵子 さん

お働きもあると、尊敬する信仰の先輩ご夫妻のお働きから感じております。主にある働きに忠実に、主に栄光をお返しできますようお願い、お祈りいたします。

ご指導くださいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。(もりなが みえこ)

／聖ヶ丘教会員

業務室より

— 年金を受けている方へ — 年金給付のお知らせ

10月の定例給付のご案内をします。

送金内容 2024年度第2期分給付
(2024年7・8・9月分)

送金日 2024年10月10日(木)
期日に、ご指定の金融機関に入金されて
いない場合は、ご連絡ください。

次回送金 2024年12月10日(火)

連絡先・年金振込先の変更は、できる
限り早めに、書状、Fax、e-mailの何れ
かで、年金局までお知らせください。

☆ 2024年版「受給者名簿」を同封いたし
ます。正確を期したつもりですが、誤り
がありましたらお知らせください。この
名簿は受給者の交わりに役立つように作
成しているものです。それ以外の目的に
はご利用なさいませぬよう、扱いにはく
れぐれもご注意ください。破棄される際
にシュレッダー等の処理が難しい方は年
金局にお送りください。

住所欄の□は、2023年度の現況届で住所
等の記載を望まないと思表示された方
です。今年度4月以降に受給者となられ
た方は、原則、そのまま記載させていた
だきました。

名簿の送付が不要と申し出られた方には
同封しておりませぬので、お入り用の際
にはご連絡ください。

☆ 7月10日の定例給付日には、退職年金1
億653万円を699名の受給者にお送りい
たしました。

☆ 6月27日(木)～28日(金)第42総会
期第4回年金局理事会を開催いたしまし

た。出席者は26名(内、オンライン1名)。
全国から集まった理事、支区代表の方々
と年金局の半期の歩みを共有し、各教区
の活動や抱えている問題の報告と情報共
有、また意見の交換が活発にもたれまし
た。教区や教会の財政が厳しい中でも尊
い献金をお献げくださることに感謝し、
更に教団年金についての理解と活動を支
えるための謝恩日献金の参加増加、また
まだ退職年金に加入していない(できな
い)教会や教師への働きかけなど、課題
は多くありますが、理事・支区代表のみ
なさんと祈りを合わせて、これからも歩
みを進めてまいります。

☆年金局創設時から理事としてご奉仕いた
だき、1992～1996年には、引き続き年
金局業務室長を勤められた西原英治氏が
7月末に逝去されました。長年の年金制
度への貢献とお働きに感謝すると共に、
ご遺族の上に主の慰めをお祈りいたしま
す。

☆今年の夏も最高記録が続く猛暑や大雨、
大気の不安定による各地を襲う自然災害
に心が痛みます。各所で頻繁に発生する
地震への不安を抱えていらっしゃる方も
おられると思います。主の平安をお祈り
しております。

また落ち着いたかと思われたコロナ感染
は第11波と言われています。第5類に
移行しても街中にはまだまだコロナウィ
ルスは存在しています。普段からの体調
に気をつけて人ごみでは自己防衛をしつ
つ、みなさまくれぐれもお気をつけてお
過ごしください。

(村山めぐみ)

日本基督教団年金局
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
Tel: 03(3202)2080 / Fax: 03(3202)2081
mail:nenkin@uccj.org

「隠退教師を支える運動」推進委員会
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
Tel: 03(3232)8005 / Fax: 03(3202)2081
mail:sasae100@uccj.org